



2024-2025年度
12月号
NO. 421

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

キリスト教理解 I B C

国際会長：シャヴァンスカーン(インド) 主題「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長：ジョウン・ウオン(香港) 主題「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事：山田公平(宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長：山本剛史郎(川越) 主題「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題「マンネリを楽しんで一歩前へ！」

12月例会(クリスマス)



と き 2024年12月12日(木)
18:00~21:00
と ころ 東陽町センターYMCA ホール

★プログラム

- 第一部：礼拝／司会：金丸満雄
 讃美歌：112番(諸人こそりて)
 聖書朗読・祈禱 大澤篤人
 讃美歌：109番(きよしこのよる)
 献 金(能登半島豪災害支援)
- 第二部：祝会／司会：沖 利柯
 開会点鐘・挨拶 会長 鮎澤正和
 ゲスト紹介
 食前の感謝 野澤一弘
 乾 杯 高野真治
 お楽しみクリスマス
 プレゼント交換
 各種報告
 閉会挨拶・点鐘 副会長 金丸満雄

✠ 今月の聖句 ✠

『さて、月が満ちて、
エリサベトは男の子を産んだ。』
—ルカによる福音書 1章57節—

11月例会報告

千代一郎

11月例会は11月14日(木)18時30分より東陽町センターで開かれた。鮎川会長の開会挨拶のあと、木村卓司さんの入会式が金丸関東東部会員増強主査の立合いで行われ、頼もしく、ガッツな新メンバーが誕生しました。食後、今回の講師として招いた片田正行氏(千代の高校時代の友人)のゲスト紹介の後、片田氏によるゲストスピーチ「意外と知らない電線のはなし(電線あれこれ)」についてお話を伺いました。卓話の内容は次の通りです。

- (1)電気の生い立ち—ギリシャのタレス(哲学者、数学者が)琥珀で静電気を発見したが(紀元前600年)、それから2000年近く何の発展も無かった。やがて、「地球は大きな磁石であること」が証明されたり(西暦1600年)、ライデン瓶(コンデンサ)が発明されたが(1746年)、フランクリンが針金のついた風を使って、ライデン瓶の雷実験を行い、雷の正体が電気であると証明した(1752年)。その後、ボルタが電池を発明し(1800年頃)、更にオームの法則も見い出され(1826年)、電気の時代に突入した。そして、アメリカのエジソンがニューヨークに作った火力発電所から、電気を送り始めた(1882年)。日本における家庭への送電は1887年のことである。
- (2)電線について—電線は発電所や変電所から送られる電気を安全に送り届けるための重要設備であり、電気抵抗率の低い「銅」や「アルミニウム」が用いられる。電線の種類は、裸線・コード・絶縁電線・ケーブルの4通りである。発電時点では数千V~数十万Vの電圧であるが効率よく送電するために、電圧区分に応じて変電所で変電され、各家庭には100V又は200Vで供給される。

↓次ページへ

11月合同例会

出席者 9名 ビジター 名
ひがし出席数 7名 ゲスト 2名
在籍数 13名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 64%

スマイル

2024-2025年度
11月 6,500円
累計 30,500円

2024-2025年度役員

会 長 鮎澤正和
副会長 金丸満雄
書 記 金丸満雄
会 計 野本多美子
担当主事 沖 利柯



次の現象は一般家庭で起こりうる火災の原因となるので、特に注意が必要である。(イ)タコ足配線の廃止(ロ)断線による発火(ハ)トラッグが卓話の主要な内容です。

専門的でちょっと硬めのテーマでしたが、わかりやすく、軟らかな説明を興味深く伺うことができ、たいへん有意義に思いました。

終了後は意見交換を行い、各種報告とスマイルで閉会した。



▼能登半島豪雨復興支援活動

9月21日～22日に石川県能登地方を襲った記録的豪雨の被災者支援のため、全国YMCAが連携して輪島市町野町にボランティアを派遣しています。11月末までに全国YMCAで延べ175名(内東京YMCAの学生ボランティア、スタッフは37名)が、泥かきや物資の仕分けなどの支援活動に従事しました。また東京YMCAでは11月2日～4日に輪島市、七尾市、穴水町、志賀町の小学生14名を招待し、「のと未来キャンプ」を国立能登青少年交流の家で実施。みんなでレクリエーションやキャンプファイヤーなどを楽しみました。

▼世界YMCA・YWCA合同祈禱週

東京YMCA、東京YWCA、在日本韓国YMCAの共催で、11月14日に「YMCA・YWCA合同祈禱週礼拝」を東京YWCAカフマンホールで開催し、約50名が出席しました。堀光雄牧師(東京YMCA山中家族キャンプチャプレン)に「神様の愛によって」と題してメッセージをいただきました。また席上献金37,492円は「能登半島豪雨YMCA緊急支援募金」に捧げられました。

▼第23回日本YMCA大会

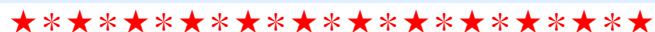
11月15日～17日、「第23回日本YMCA大会」が「Link!～[私]、YMCA、世界、そして未来～」をテーマにYMCA東山荘で開催され、全国YMCAからユースボランティア、会員、職員など約215名(東京YMCAから21名)が参加し、オンラインでは94名が視聴しました。基調講演、「世界YMCA VISION2030」の学び、全国YMCAの日本一自慢、会員表彰等のプログラムが持たれ、活気ある大会となりました。この大会は、梅原大毅氏(東京YMCA職員)を含む全国のユースの実行委員10名が中心となり、準備と運営がなされました。

▼クリスマスオープンハウス

12月8日(日)、恒例のクリスマスオープンハウスが東陽町センターにて開催されます。当日は10時からの開会セレモニーに向け準備をお願いいたします。当日のお天気が気になりますが、子どもたちは美味しいクレープを楽しみにしていますので、どうぞよろしくをお願いいたします。当日は社会体育・保育専門学校の学生も3名クレープブースのお手伝いに来ますので、併せてクレープのご指導の程よろしくお願いいたします。

ひがしの皆様よろしくお願ひいたします

東京ひがしワイズメンズクラブに入会しました木村卓司です。2023年3月まで東京YMCA東陽町コミュニティセンターの職員でした。東陽町センターでイベントの度にひがしワイズの皆様にはご協力をいただいておりますが、今後は同じワイズメンとしてYMCAのサポートに努めてまいります。また現在行っているプログラムが継続できるよう、ユース世代を多く巻き込んで行きたいです。特に子ども食堂はユース世代にとっては魅力的なプログラムで、とてもやり甲斐のある活動なので強みとしていきたいです。どうぞよろしくお願ひいたします。



おめでとう!

川越クラブ25周年

12月1日(日)、川越クラブ25周年記念例会が、川越市内のレストラン「エルミターージュ」にて行われ、ひがしクラブから鮎澤会長と金丸が出席した。16時、吉野メンの司会で第1部:記念例会がスタート。利根川恵子実行委員長よりの挨拶、山田公平東日本区理事の来賓挨拶のあと、山本剛史郎メンより、川越クラブ「ニコニコ25年の歩み」がパワーポイントで語られ第1部が終了。記念撮影を行い第2部懇親会は、生川メンの司会でスタート。親クラブである東京・埼玉の両会長による祝辞のあと乾杯で、フルコースの食事と多種のドリンクを飲みながら懇親が行われた。会場の関係で参加者50名に限定されたおかげでゆっくり食事と会話を楽しめた。参加者紹介が行われ、クリスマスソング等「皆で歌おう」で楽しみ、利根川太郎会長の謝辞で閉会となった。

川越クラブのますますのご発展を祈念いたします。



東陽町YMCA クリスマス オープンハウス 12/8(日) 10:30~15:00
バザー献品受付 11/1~12/5
バザー、国際喫茶 模擬店、ゲームコーナー 近隣小学校絵画展、吹き矢コーナー 防災体験(消化体験など) WEBラッフル抽選会(後日配信) など